

作曲/笛・三味線 木村 俊介

和楽器奏者(笛・三味線)として活動する一方、作曲・作詞・音楽監督を行う。自作曲によるコンサートでは、心象風景や心の動きをモチーフとした音楽で独自の世界を展開している。また、日本各地の民俗芸能の施法・リズムを取り入れた音楽は海外でも高く評価され、これまでに世界5大陸35ヶ国の音楽祭に招聘出演している。2020年より、エッセーとCDによる会員制季刊誌『音之文』(オトシブミ)を 発行。

'22年 ◆演劇倶楽部「座」公演『ハーンの面影』(恵比寿エコー劇場)の音楽を担当。

'23~'24年
◆カヤグム奏者・朴 淳嗣氏とのLIVEプロジェクト『鶴の橋の上で』を日・韓で開催。

'24年 ◆津軽三味線奏者・小野越郎氏とのDUOで、イタリア・ドイツ・イギリスにてコンサートを開催。

《木村俊介 website》 <http://insho.kmlw.net>

ゲスト

ヴァイオリン 西田 ひろみ

上野学園大学音楽学部卒業。
ヴァイオリンを江藤俊哉、篠崎功子、竹内茂氏に師事。在学中、微分音グループ「シジジーズ」を結成。作曲家冷水ひとみと共にTZADIKレーベルよりCDリリース、ライブ活動、TV番組、CM等の音楽製作に携わる。スタジオワークにも多数参加。1995~1998年カイロに滞在し、アラブヴァイオリンをアブドダギールに師事。現地のミュージシャンとも多数共演。2013年シジジーズの新作「otona」をリリース。2015年イタリアポローニャでの「アンジェリカフェスティバル」に参加。現在は邦楽器との共演も多くジャンルを超えたヴァイオリン奏者として数々の国内、海外公演に参加している。

二十絃箏 稲葉 美和

4歳より生田流箏曲を学ぶ。
CD「遠くの雨」「あおのむこう」(コントラバスとのデュオ)、「桜の咲くころに」(箏ソロ)等。
オリジナル曲を中心としたコンサート活動をする他、NHKスペシャル「大地の子を育てて」('05年日本賞クランプリ受賞番組)を始めとするTV、ラジオ番組等の音楽制作参加や出演、小椋佳やヤドランカのコンサートツアーに参加するなど、个性的で心地よい音づくりを追求しつつ活動中。
邦楽器の為の作曲・編曲も多数。
H.24年度宮城道雄記念コンクール作曲部門第一位。
<http://inaba.kmlw.net/>

友情出演

舞踊・太鼓 加藤木 朗

2024年
12月20日(金)

午後 6時45分 開場
午後 7時15分 開演

予約・問合せ

〈木村俊介〉
●mail insho@sky.plala.or.jp
●tel. 090-8346-5548
〈平澤久美子〉
●mail info@wariki.jp
●tel. 080-6801-4161

料金

全席自由 4,500円
音之文会員料金 4,000円

※ドリンク代別(要1オーダー)
※完全予約制
お客様の料金はお問合せください

会場

飯田CANVAS
飯田市知久町2-1 熊谷ビルB-1
tel. 090-3587-9401

木村俊介コンサート

音象

いんしょう

年の瀬に、ゆったりと音楽に浸るひと時を

